

## ロシア特許庁が管轄国際調査機関・管轄国際予備審査機関となる

2011年12月19日  
JETRO NY 諸岡

米国特許商標庁(USPTO)は12月19日、米国が受理官庁(RO<sup>1</sup>)であるPCT出願について、ロシア特許庁(Rospatent<sup>2</sup>)が国際調査及び国際予備審査を行うことについて同特許庁と協定を結んだと発表した<sup>3</sup>。

これにより、米国を受理官庁としてPCT出願をした出願人は、これまでのUSPTO、欧州特許庁(EPO)、韓国特許庁(KIPO)、オーストラリア特許庁(IP Australia)に加え、ロシア特許庁(Rospatent)を管轄国際調査機関(管轄ISA)及び／又は管轄国際予備審査機関(管轄IPEA)として選択できるようになる。

Rospatentを管轄ISAとした場合のサーチ料金は415米ドル。また、管轄IPEAとした場合の予備審査料金は5400ロシアルーブル<sup>4</sup>+手数料219米ドルとなっているが、Rospatentによるサーチを経していない場合の予備審査料金は8100ロシアルーブルとなる。

この合意を受け、USPTOのDavid Kappos長官は、「Rospatentとの協力は、米国出願人に更なる選択肢とコスト低減をもたらす」旨述べ、RospatentのBoris Simonov長官は「この協定はUSPTOとRospatent両庁が協力していく重要な1ステップであり、特許審査の質の更なる向上を図ることが出来る」旨述べている。

この協定は、2012年1月10日より実施される。

(了)

---

<sup>1</sup> Receiving Office の略

<sup>2</sup> Russian Federal Service for Intellectual Property

<sup>3</sup> [プレスリリース](#)

<sup>4</sup> 2011年12月19日のレートは1米ドルは約32ロシアルーブル。ドルに換算して支払う。